

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けに取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	総合訓練、夜間想定訓練を実施しているが、避難誘導時、2階からの安全な避難方法、避難誘導手順の確認を職員全員で共有しなければならない。	避難方法、避難誘導手順を職員全員が把握し、災害時安全に避難出来る体制を整える。	・チームミーティング時に安全な避難方法の実践、誘導手順の確認を行う。 ・訓練時の課題点を職員で話し合い、課題解決に向けた取り組みを行う。 ・運営推進会議などを通して近隣住民との協力関係の確認を行う。	6ヶ月
2	49	定期的な外出は行えてはいるが、職員が行き先を決めた上での外出となっている。入居者様の希望に沿った外出が少ない。	入居者様の希望、要望をお聞きし、さまざまな所への外出、個別での外出機会を増やす。	・日々の関わり、会話の中から入居者様の行き先、行ってみたい所を聞きだし把握する。 ・買い物に出掛けた時や午後の空いた時間を利用し、個別的な外出を支援する。	12ヶ月
3	40	毎日献立を考えているが、同じような献立になってしまっている。入居者様の意見を反映させることが少なく、メニューの変化が無くなっている。季節を感じられるメニューが少ない。	入居者様と一緒に献立を作る機会を作り、献立のマンネリ化をなくす。また、季節のメニューを取り入れ食事を楽しめるようにする。	・日々の関わりや会話の中から入居者様の好きな物、昔食べていた物、食べてみたい物、季節の料理等の把握と聞き取りを行い、献立に取り入れる。 ・一緒に献立を立て、食事を作る事で、作る楽しさ、残存機能の維持向上、脳の活性化を図って頂ける様支援する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。